



夢をかたちに

週報

2008～2009年度 RI 会長

李 東 建

RI2730 地区ガバナー

安満 良明

鹿児島市内分区ガバナー補佐 上原 一八

鹿児島東南ロータリークラブ

会長 野井倉 洋豪 副会長 山田忠茂 幹事 須部 純範

(例会日、場所) 毎週火曜日、鹿児島市与次郎一丁目8-10

サンロイヤルホテル Tel 099-253-2020

(事務局) 〒890-0062 鹿児島市与次郎一丁目8-10

サンロイヤルホテル4F Tel 259-6855 Fax 259-1622

E-Mail tounanrc@alto.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.tounanrc.jp/>

第1941回 No.28

平成21年2月17日(火)

本日のプログラム

クラブフォーラム

(ロータリー情報委員会)

第1940回例会

会長挨拶

野井倉洋豪会長

今回は第1940回例会です。今年度27回の例会となります。2月は『世界理解月間』です。1905年2月23日はロータリークラブの創始者であるポール・ハリス、ガスターバス・ローア、シルベスター・シール、・ハイラム・ショーレーの4人がシカゴで初めて会合を開いた日を記念してこの月間がもうけられています。本日はフリートークを予定しています。当クラブへの運営に対する意見、40周年記念式典に関する意見 会員増強について等、皆で検討したいと考えます。

最後に 次期ガバナー 秦喜八郎様より 次年度のテーマ『ロータリーの未来はあなたの手に THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS』と連絡がきました。詳しいことは次期会長より説明がある予定です。



<会務報告>

○次週10日(火)はクラブ定款による休会です。お間違いないように。

○九州財務局より“九州ざいむ 2008 初冬号”が届いております。

○鹿児島城西 RC より：今年度 IM について

日時：2009年2月21日(土) 13:10～15:30

(12:00 登録開始)

場所：南日本新聞社 みなみホール

メインテーマ「地域に密着した奉仕活動」

(内容)

- 1、四大奉仕について
- 2、我々ロータリアンが地域社会に貢献するには、どのような奉仕活動をすべきか。過去例(献血、老人ホーム訪問、朝掃除、バス停椅子寄贈、募金活動等)
- 3、意義ある例会、魅力ある例会にするには(人生勉強の場として)
- 4、市内クラブ間の親睦と連携を深めるには
- 5、CLPの有効な活用について
- 6、その他
(プログラム)

12:00 登録受付 12:00～13:00 昼食

リーダー 鹿児島城西 RC 興津 立夫

SAA 鹿児島城西 小牧 二郎

13:10 点鐘 ガバナー補佐 上原 一八

13:12 国歌並びにロータリーソング

13:17 開会の挨拶 IM 実行委員長 川井田哲

13:20 ガバナー補佐挨拶 ガバナー補佐 上原一八

13:30～15:20 全体会議 リーダー 興津 立夫

15:25 閉会の言葉 鹿児島城西 RC 会長 迫田 修

15:30 点鐘 ガバナー補佐 上原 一八

<出席報告> 2月3日

会員数	36名	前々回出席者	20名
出席会員	21名	メイクアップ	6名
出席率	69.445%	出席訂正率	70.27%

<スマイルボックス>

☆野井倉洋豪君—今月は世界理解月間です。世界の理解と平和について考えましょう。

☆笹平直夫君—誕生祝をいただいてありがとうございます。今月で70歳になります。健康で過ごしたいと願っております。今年是指宿菜の花マラソンに急遽欠席しました。が来春から再び参加したいと思っています。

本日計 4,000 円 累計 219,000 円

40周年記念式典について

(だいたいの骨組みができました)

平塚実行委員長代行

5月9日(土)

サンロイヤルホテル

登録受付 15:00~15:50

式典 16:00~16:45

写真撮影 16:50~17:00

記念講演 17:00~18:00 (三遊亭歌之介さん)

祝賀 18:10~20:00

記念事業・・・太陽電池時計を市の施設に設置
また記念式典に森鹿児島市長に出席していただくことになりました。

『友』インターネット速報

ゲイツ財団がポリオ撲滅に新たな補助金

世界的なポリオ撲滅活動に充てるため、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団から国際ロータリー(RI)に対し新たに2億5,500万ドルの補助金が寄せられました。

野生ポリオウイルスが現存する4か国(アフガニスタン、インド、ナイジェリア、パキスタン)のガバナーエレクトとの会合を終えたビル・ゲイツ氏は、サンディエゴ国際協議会の本会議で、新たな補助金の提供を発表。「ポリオウイルスの完全な根絶は難しく、今後も難を極めることでしょう。撲滅という目標に私自身が深くかかわるようになったのは、撲滅を目指して努力を傾けるロータリーのひたむきな姿に深い感動を覚えたことが大きな理由です」と述べました。

今回受領した補助金は、ロータリー創設以来104年の歴史において最も高額なものです。2007年11月にも、ロータリーが同額を集めることを条件にゲイツ財団から1億ドルの補助金を受領していますが、今回、募金の上乗せを条件に新たな補助金を受けたことで、RIはさらに1億ドルの募金を目標に掲げ、「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」と銘打って、2012年6月30日までに上乗せ資金を調達し

ていくことになります。

ロータリーは既に約7,300万ドル(うち現金寄付6,200万ドル、誓約1,100万ドル)を集めています。各クラブには今後3年間、一般の人々を対象に募金活動を実施するよう奨励しています。

銃乱射事件の犠牲者のための追悼基金を設置

アメリカ・オレゴン州、クラカマスロータリークラブ(RC)と、国際ロータリー第5100地区は、1月24日にオレゴン州ポートランドの未成年ナイトクラブの前で起きた銃乱射事件の犠牲者を追悼するための基金を設置しました。この事件では、2人のロータリー青少年交換学生の命が奪われ、5人が負傷しました。犠牲となったオレゴン州のアシュリー・ローレン・ウィルクスさん(16歳)と、ペルー出身のマルタ・パズ・デ・ノボアさん(17歳)は、事件当夜、9人の交換学生とともにこのナイトクラブで誕生日を祝っていました。負傷したほかの5人は、全員、退院しています。ポートランド警察の捜査官は、今回の事件を「無差別な乱射」と述べ、犠牲となった留学生たちは犯人の男とは面識がなく、また、犯人を挑発するような行為もなかったと説明しています。犯人は犯行後に自分の頭を銃で撃ち自殺しました。

第5100地区の青少年保護役員、スコット・ビーバー氏によると、交換学生の安全と健康を常に第一に優先しているが、同時に、アメリカの高校生としての生の体験を味わってもらえるようにしている、ということです。

第5100地区では、マルタ(ティカ)パズ・デ・ノボア追悼奨学金基金、一方、クラカマスRCでは、ウィルクスさんが通っていたクラカマス高校に追悼奨学金基金を設置しました。この基金についての寄付、詳細はRIのウェブサイト <http://www.rotary.org/ja/Pages/ridefault.aspx> でご覧ください。

2/24(火) 外部卓話 永里 絳二 様		3/3(火) クラブ協議会 40周年実行委員会		3/10(火) PETS 報告
月/日	クラブ	例会場	プログラム(△変更)	
2 / 18 (木)	鹿児島南	サンロイヤル	△指宿 RC 合同例会 18:30~	
	鹿児島西	山形屋	△ インフォーマル・ディスカッション・ミーティング 18:30~	
	鹿児島西南	ゆうづき	クラブ協議会	
2 / 19 (木)	鹿児島東	山形屋	会員卓話	
	鹿児島北	鹿児島東急ホテル	20周年記念事業委員会別発表	
	チノバルド	鹿児島東急イン	例会運営委員会担当	
2/20(金)	鹿児島	山形屋	ゲスト卓話 岡島 達雄様	
2/23(月)	鹿児島中央	山形屋	IM 報告	
2/24(火)	鹿児島城西	鹿児島東急イン	IM 報告	